

L1 PRO32 + SUB2

PORTABLE LINE ARRAY SYSTEM



(グリルを取り外した図)

L1 Mixアプリ

モバイル機器は付属しません。また、原寸大ではありません。

製品概要

L1 Pro32は、L1シリーズ最高のパフォーマンスを誇るL1ポータブルラインアレイです。32個のドライバーによるアーティキュレーテッドラインアレイから最高にクリアなサウンドを出力し、180度の水平カバレッジを実現。結婚式、クラブ、フェスティバルといった中規模から大規模の会場やイベントに最適な、比類ないポータブルPAシステムをユーザーに提供します。L1 Pro32は、Bose Sub1またはSub2サブウーファーと組み合わせることで、収納、運搬、セットアップが簡単に行える、パワフルなモジュラーソリューションを構築できます。ビルトインのマルチチャンネルミキサーが、EQ、リバーブ、ファンタム電源、Bluetooth®ストリーミング、およびToneMatchプリセットの豊富なライブラリへのアクセスを提供。また、直感的なL1 Mixアプリにより、スマートフォンを使って手元からワイヤレスでコントロールが可能です。

L1 Pro32は、DJ、シンガーソングライター、バンド、そしてそのオーディエンスにも、最高の体験を提供。あなたのベストパフォーマンスを引き出します。

主な特長

最高のオーディオ体験を実現: シリーズ最高のパフォーマンスを誇るL1ポータブルラインアレイは、結婚式やクラブ、フェスティバルなどの、中規模から大規模の会場やイベントに最適

高品質なフルレンジサウンドと均一な音質: シンガーソングライター、モバイルDJ、バンドなどにも最適

ボーカルにも楽器にも最高にクリアな音質を: 32個のアーティキュレーテッド2インチネオジムドライバーを備え、広い周波数特性を誇る直線型ラインアレイが、180度の水平カバレッジを実現

小型サイズで豊かな低音を実現: レーストラック型ドライバーを搭載したBose Sub1またはSub2モジュラーサブウーファーは、省スペースで、車やステージの設置スペースを解放

車から会場までの搬入も簡単: 収納、運搬、セットアップが簡単な、モジュラー設計の高出力システム

選べるシステムEQプリセット: ライブ演奏や音楽再生などに最適化されたEQプリセットを各種搭載

さまざまなオーディオソースを簡単に接続: 内蔵のミキサーは、2つのXLR & ¼インチファンタム電源付きコンボ入力と¼インチおよび⅜インチ(9.5 mm)AUX入力を備え、Bluetooth®ストリーミングに対応。さらに自照式コントロールから、システムEQ、ToneMatchのプリセット、音量、トーン、リバーブにアクセス可能

追加の楽器や音源ソースにも対応できる拡張性の高い入力ポート: 専用のToneMatchポートを装備。Bose T4SまたはT8Sミキサー(別売)とシステムを1本のケーブルでつなぐだけで、電源供給とデジタルオーディオ接続を実現

L1 Mixアプリを使ってワイヤレスでコントロール: スマートフォンから設定を即座に調整できるほか、会場を歩いて音響を確認しながらの微調整や、ToneMatchライブラリ内のカスタムEQプリセットへのアクセスが可能

高品質なBluetooth®オーディオ: 対応機器を利用してストリーミングが可能

技術仕様

| システム性能 | |
|-------------------------------------|---|
| モデル名 | L1 Pro32 + Sub2 |
| システムのタイプ | パワードラインアレイ、ベースモジュール、3チャンネルデジタルミキサー搭載 |
| 周波数特性(-3 dB) ¹ | 37 Hz~16 kHz |
| 周波数レンジ(-10 dB) | 30 Hz~18 kHz |
| 公称垂直カバレッジパターン | 0° |
| 垂直ビームタイプ | 直線型 |
| 公称水平カバレッジパターン | 180° |
| 最大音圧レベル(連続、@1 m、計算値) ² | 122 dB |
| 最大音圧レベル(peak、@1 m、計算値) ² | 128 dB |
| クロスオーバー | 200 Hz |
| トランスデューサー | |
| 低域 | 10インチ×18インチレストラック型低域ドライバー(x 1) |
| 低域ボイスコイルサイズ | 3インチ |
| 高/中域 | アーティキュレーテッド2インチドライバー(x 32) |
| 高/中域ボイスコイルサイズ | ¾インチ |
| ドライバー保護 | ダイナミックリミッター式 |
| アンプ | |
| タイプ | 2チャンネル、D級 |
| 低域アンプチャンネル | 1000 W |
| 高/中域アンプチャンネル | 480 W |
| 冷却 | L1 Pro32: ファンアシスト式冷却 Sub2: 対流冷却 |
| オンボードミキサー | |
| チャンネル | 3 |
| チャンネル1および2の入力: オーディオタイプ | コンボ(XLRまたは¼インチTRS)コネクター(マイク/楽器/ライン) |
| チャンネル1および2の入力: 入力インピーダンス | 10 KΩ(XLR)、2 MΩ(TRS) |
| チャンネル1および2の入力: トリム | 0 dB、12 dB、24 dB、36 dB、および45 dBアナログゲイン切り替え、DSPにより自動的に選択および補正 |
| チャンネル1および2の入力: チャンネルゲイン | -100 dB~-+75 dB(XLR)、-115 dB~-+60 dB(TRS)、入力からドライバーまで、音量ノブで調節 |
| チャンネル1および2の入力: 最大入力信号 | +10 dBu(XLR)、+24 dBu(TRS) |
| チャンネル3の入力: オーディオタイプ | ¼インチTRS(ステレオミックス、ライン)、¼インチTRS(ライン)、Bluetooth®オーディオストリーミング |
| チャンネル3の入力: 入力インピーダンス | 40 KΩ(3.5 mm)、200 KΩ(TRS) |
| チャンネル3の入力: チャンネルゲイン | -105 dB~-+50 dB(3.5 mm)、-115 dB~-+40 dB(TRS)、入力からドライバーまで、音量ノブで調節 |
| チャンネル3の入力: 最大入力信号 | +11.7 dBu(3.5 mm)、+24 dBu(TRS) |
| ToneMatch: オーディオタイプ | RJ-45コネクター(ToneMatchケーブル接続)、T4S/T8S ToneMatchミキサー(別売)にデジタルオーディオおよび電源接続を提供 |
| 出力: オーディオタイプ | XLRコネクター、ラインレベル、全周波数帯域 |
| Bluetooth対応 | 対応 |
| Bluetoothタイプ | AACおよびSBC(オーディオストリーミング)、LE(システムコントロール) |
| チャンネル操作 | デジタルロータリーエンコーダー(x 3) |
| ファンタム電源 | チャンネル1および2 |
| LEDインジケーター | スタンバイ、チャンネルパラメーター、シグナル/クリップ、ミュート、ファンタム電源、ToneMatch、Bluetooth LED、システムEQ |

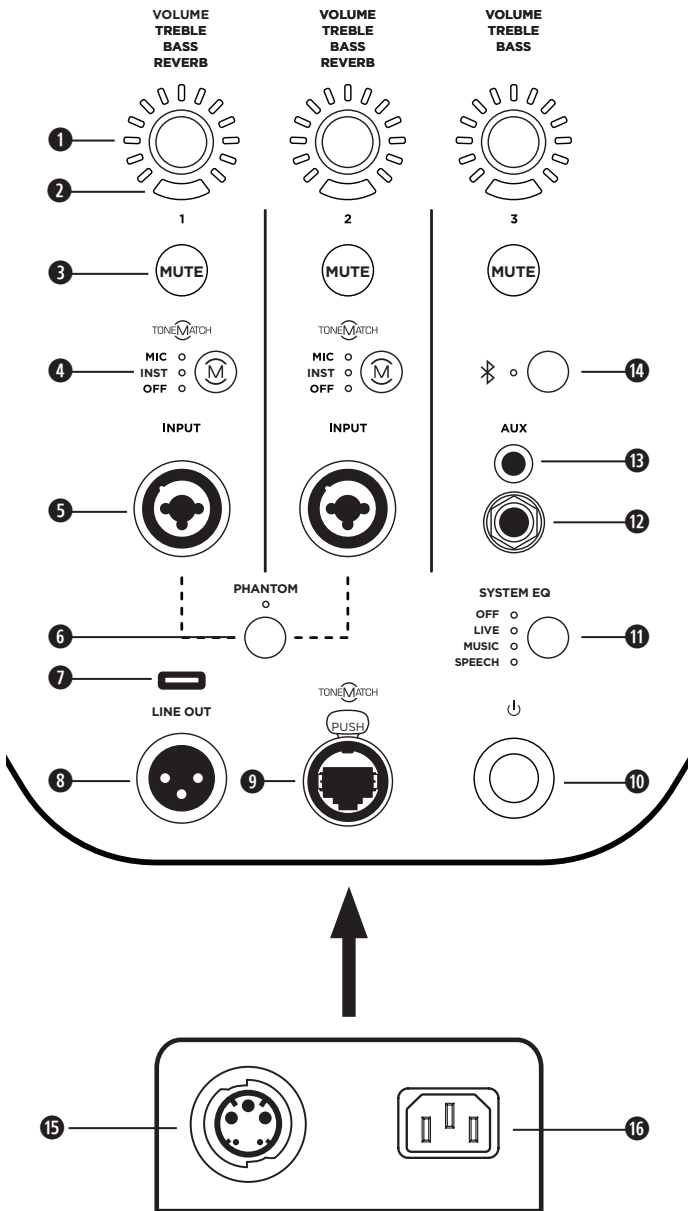
技術仕様

| 電源 | |
|------------------|---|
| AC電源入力 | 100~240 VAC (±20%、50/60 Hz) |
| 入力: 電力タイプ | IEC |
| 初期起動時突入電流 | L1 Pro32: 15.3 A (120 V)、29.0 A (230 V) |
| | Sub2: 15.2 A (120 V)、28.6 A (230 V) |
| 5秒間のAC電源中断後の突入電流 | L1 Pro32: 1.2 A (120 V)、26.5 A (230 V) |
| | Sub2: 2.6 A (120 V)、6.1 A (230 V) |
| エンクロージャー | |
| 色 | ブラック |
| エンクロージャー材質 | L1 Pro32: パワースタンド: 耐衝撃性ポリプロピレン アレイ: 耐衝撃性ABS |
| | Sub2: 耐衝撃性ポリプロピレン、パーチ合板 |
| 製品寸法(H x W x D) | L1 Pro32: 2120 x 351 x 573 mm |
| | Sub2: 694 x 317 x 551 mm |
| 梱包寸法(H x W x D) | L1 Pro32: 220 x 450 x 1200 mm |
| | Sub2: 660 x 385 x 790 mm |
| 質量 ³ | L1 Pro32: 13.1 kg |
| | Sub2: 23.0 kg |
| 梱包質量 | L1 Pro32: 19.0 kg |
| | Sub2: 27.7 kg |
| 保証期間 | 2年 |
| 付属品 | アレイ用キャリーバッグ、パワースタンド用キャリーバッグ、SubMatchケーブル、IEC電源コード(x 2)、ベースモジュールスリッカバー |
| オプションのアクセサリ | L1 Pro32 Array & Power Stand Bag、Sub2 Roller Bag、Adjustable Speaker Pole、- SubMatch Cable |
| 製品の部品番号 | |
| 840921-1100 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY, 120V,US |
| 840921-2100 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY,230V,EU |
| 840921-3100 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY,100V,JP |
| 840921-4100 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY,230V,UK |
| 840921-5100 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY,230V,AU |
| 840921-5130 | L1 PRO32 PORTABLE LINE ARRAY,230V,INDIA |
| 840917-1100 | SUB2 POWERED BASS MODULE,120V,US |
| 840917-2100 | SUB2 POWERED BASS MODULE,230V,EU |
| 840917-3100 | SUB2 POWERED BASS MODULE,100V,JP |
| 840917-4100 | SUB2 POWERED BASS MODULE,230V,UK |
| 840917-5100 | SUB2 POWERED BASS MODULE,230V,AU |
| 840917-5130 | SUB2 POWERED BASS MODULE,230V,INDIA |
| 856996-0110 | PREMIUM CARRY BAG,L1 PRO32,BLACK |
| 856986-0110 | PREMIUM ROLLER BAG,SUB2,BLACK |
| 857172-0110 | SUBMATCH CABLE,BLACK |
| 857000-0110 | SPEAKER STAND,SUB POLE,BLACK |
| 845116-0010 | TONEMATCH CABLE ASSY KIT 18FT |

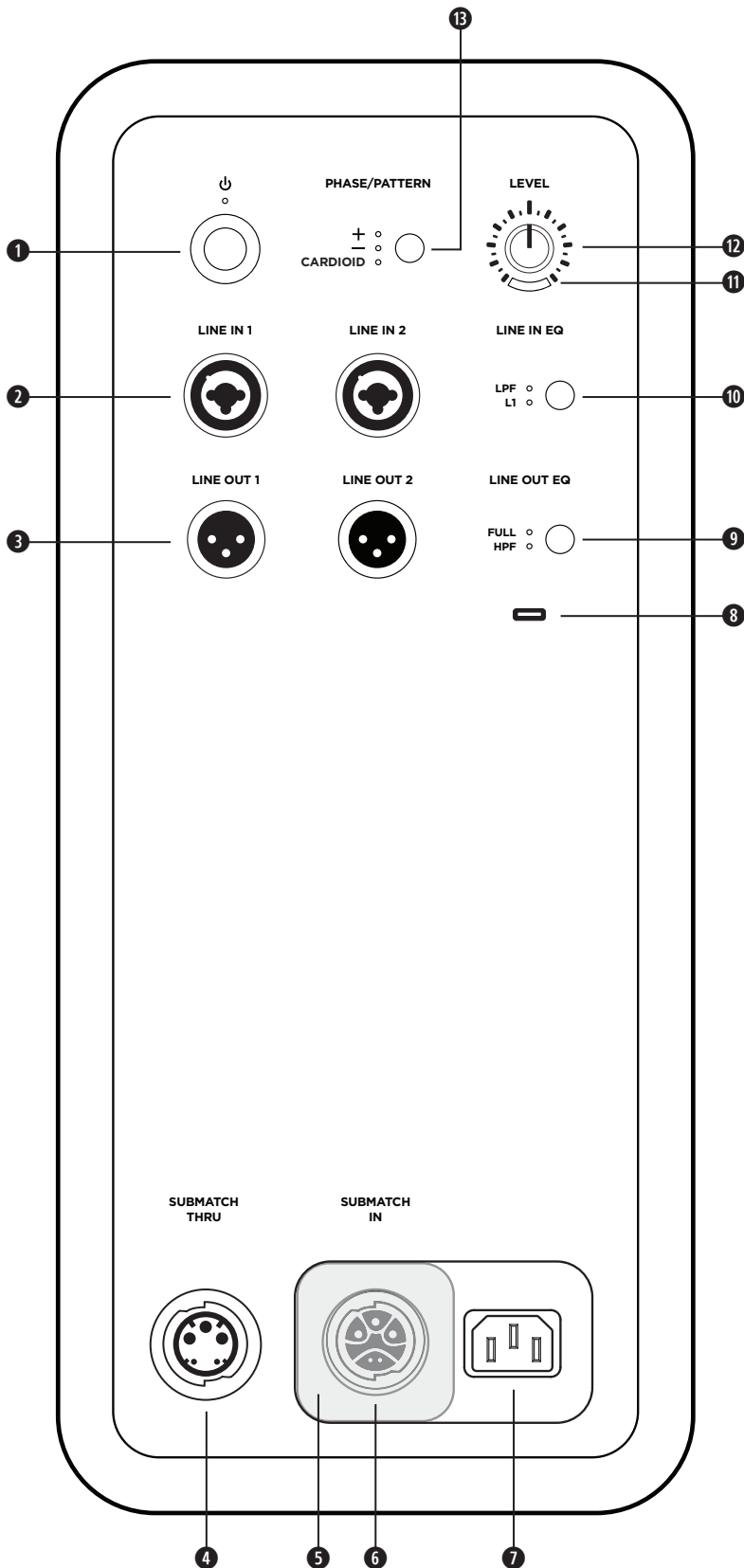
脚注:

- (1) 無響空間内の軸上で、バンドパスとEQを使用して測定した周波数特性および周波数レンジ。
(2) 感度および許容入力に基づき、電力圧縮を除外して計算した最大音圧レベル。
(3) 質量には、キャリーバッグ、スリッカバー、SubMatchケーブル、電源コードは含まれません。

接続とコントロール



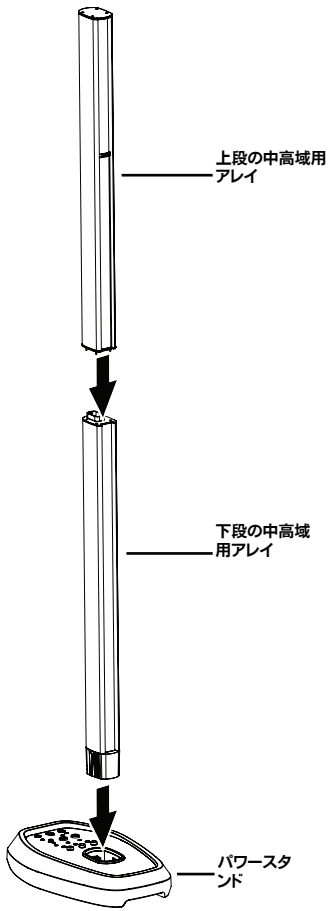
- チャンネルパラメーターコントロール:** 任意のチャンネルの音量、高音、低音、リバーブを調整します。コントロールを押すとパラメーターを切り替えられ、回すと選択したパラメーターのレベルを調整できます。
 - シグナル/クリップインジケーター:** 信号を受けている場合はLEDが緑に点灯し、信号がクリップしたり、リミッターが適用されると赤く点灯します。チャンネルまたは信号の音量を下げることで、信号のクリッピングやリミッターの適用を防ぐことができます。
 - チャンネルミュート:** 個別のチャンネルの出力をミュートします。ボタンを押すとチャンネルをミュートできます。ミュート中はボタンが白く点灯します。
 - チャンネルToneMatchボタン:** 個別のチャンネルのToneMatchプリセットを選択します。マイクには「MIC」を使用し、アコースティックギターには「INST」を使用します。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
 - チャンネル入力:** マイク(XLR)、楽器(TS、アンバランス)、またはラインレベル(TRS、バランス)のケーブルを接続するアナログ入力です。
 - ファンタム電源:** ボタンを押すと、チャンネル1と2に48 V電源が適用されます。ファンタム電源が適用されると、LEDが白く点灯します。
 - USBポート:** ボーズのサービスで使用するUSB-Cコネクタです。
注: このポートはThunderbolt 3ケーブルには対応していません。
 - XLRライン出力:** XLRケーブルを使用して、Sub1/Sub2、またはその他のベースモジュールにラインレベル出力を接続します。
 - ToneMatchポート:** ToneMatchケーブルを使用して、お使いのL1 ProをT4S/T8S ToneMatchミキサーに接続します。
- 注意:** コンピューターや電話回線には接続しないでください。
- スタンバイボタン:** ボタンを押して、L1 Proの電源をオンにします。L1 Proがオンになっていると、LEDが白く点灯します。
 - システムEQ:** ボタンを押して、用途に適したマスターEQをスクロールして選択できます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
 - TRSライン入力:** 6.4 mm (¼インチ) TRSケーブルを使用して、ラインレベルの音源を接続します。
 - AUXライン入力:** 3.5 mm (⅛インチ) TRSケーブルを使用して、ラインレベルの音源を接続します。
 - Bluetooth®ペアリングボタン:** Bluetooth対応機器とのペアリングをセットアップします。L1 Proが検出可能になるとLEDが青く点滅し、機器がペアリングされ、ストリーミング可能な状態になると白く点灯します。
 - SubMatch出力:** SubMatchケーブルを使用して、Sub1/Sub2ベースモジュールを接続します。
 - 電源入力:** IEC電源コードを接続します。



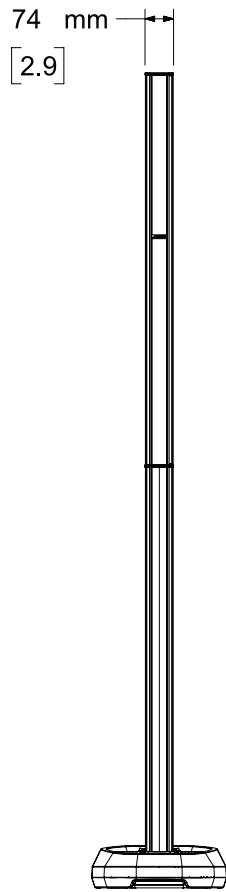
- ① **スタンバイボタン:** ボタンを押して、Subの電源をオンにします。ベースモジュールの電源がオンになると、LEDが白く点灯します。
- ② **ライン入力:** L1 Proまたはその他のラインレベル音源を接続するアナログ入力です。XLR/TRS バランスケーブル、またはTSアンバランスケーブルに対応しています。
- ③ **ライン出力:** XLRケーブルを使用して、スピーカーにラインレベル出力を接続します。
- ④ **SubMatchスルーポート:** SubMatchケーブルを使用して、追加のベースモジュールを接続します。SubMatch接続では、1台のL1 Pro32から最大2台のSub1/Sub2 Powered Bass Moduleに電源を供給できます。
- ⑤ **電源入力カバー:** SubMatch入力と電源入力の同時使用を防ぎます。カバーをスライドすると、セットアップに必要な電源入力があります。
- ⑥ **SubMatch入力:** SubMatchケーブルを使用して、ベースモジュールをL1 Pro32に接続します。
- ⑦ **電源入力:** IEC電源コードを接続します。
- ⑧ **USBポート:** ポーズのサービスおよびファームウェアの更新に使用するUSB-Cコネクタです
注: このポートはThunderbolt 3ケーブルには対応していません。
- ⑨ **ライン出力EQ:** ライン出力の使用時に、全帯域または多目的のHPFのいずれかを選択します。ボタンを押してEQ設定を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
- ⑩ **ライン入力EQ:** ライン入力の使用時に、L1 Proに最適化されたEQまたは多目的のLPFのいずれかを選択します。ボタンを押してEQ設定を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
- ⑪ **シグナル/クリップインジケータ:** 信号を受けている場合はLEDが緑に点灯し、信号がクリップしたり、リミッターが適用されると赤く点灯します。チャンネルまたは信号の音量を下げることで、信号のクリッピングやリミッターの適用を防ぐことができます。
- ⑫ **レベルコントロール:** オーディオ出力のレベルを調節します。レベルコントロールはライン出力には影響しません。L1 Pro32と使用する際には、12時の位置に設定することをお勧めします。
- ⑬ **フェイズ/パターンボタン:** ベースモジュールの極性を切り替えます。ボタンを押して極性を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。2台の同じベースモジュールを使用する際には、カーディオイドモードを使用することもできます。

製品寸法

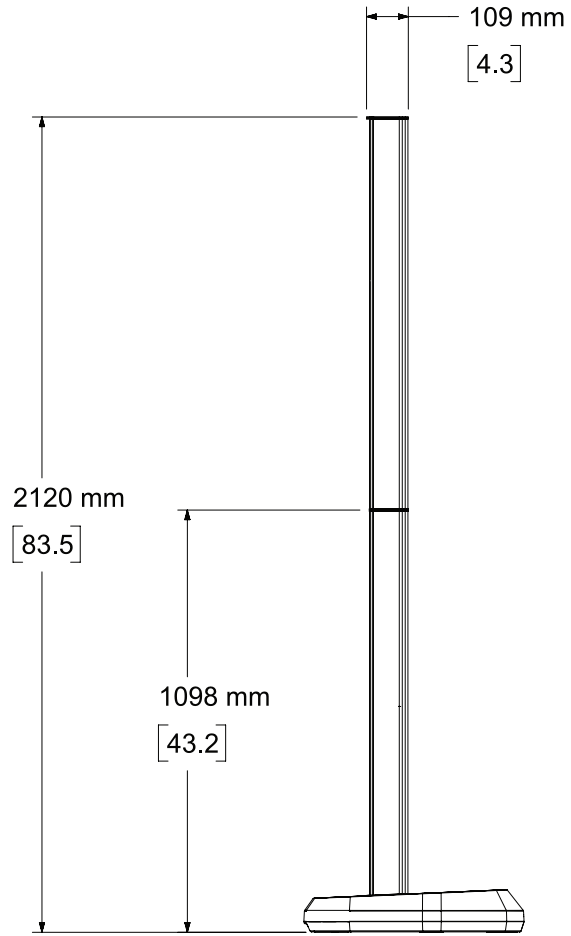
モジュール図



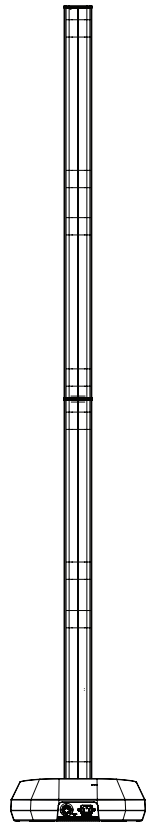
前面



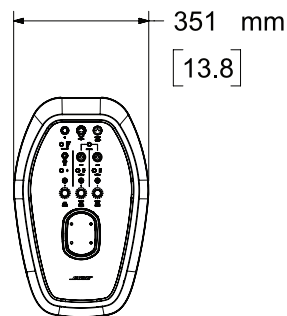
側面図



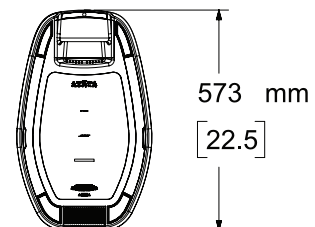
背面



上面

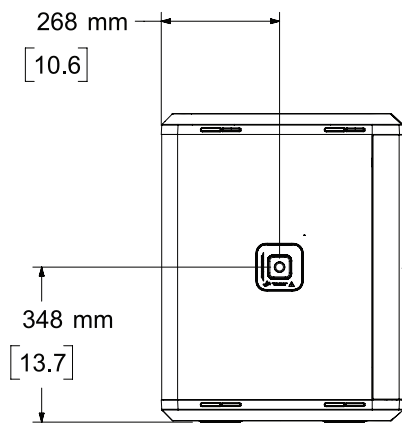


底面

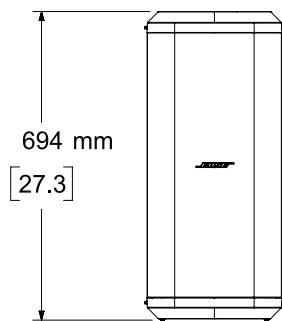


製品寸法

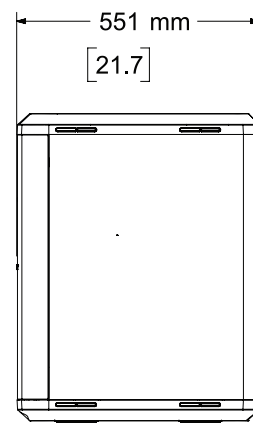
左面



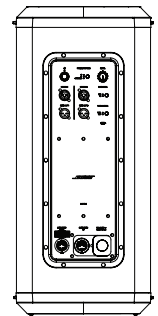
前面



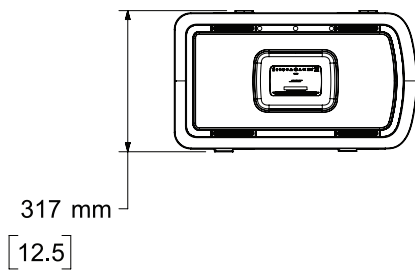
右面



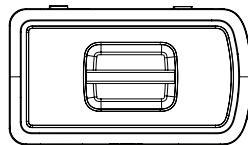
背面



底面

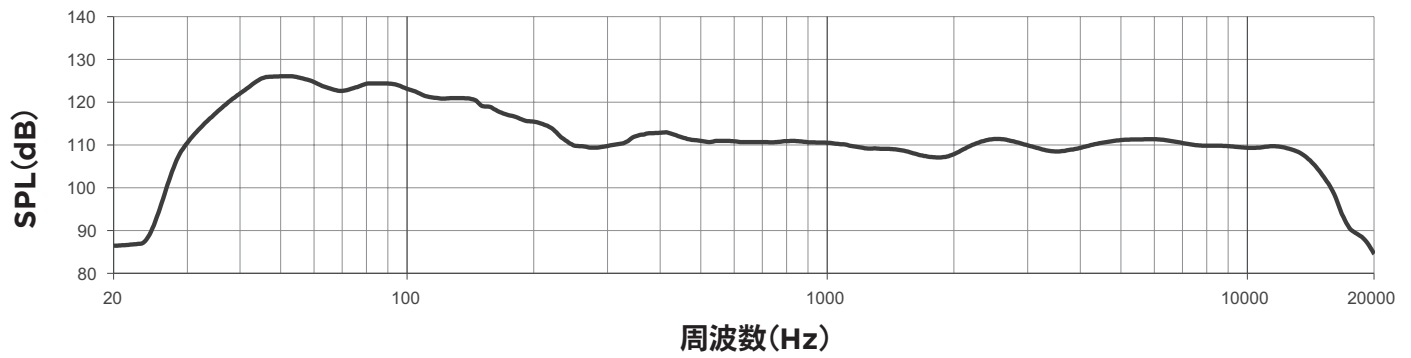


上面

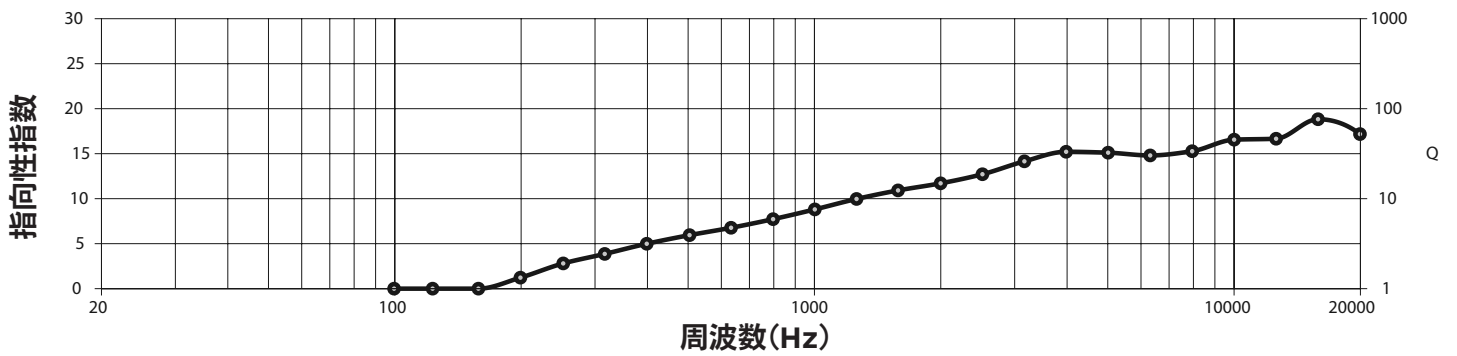


性能

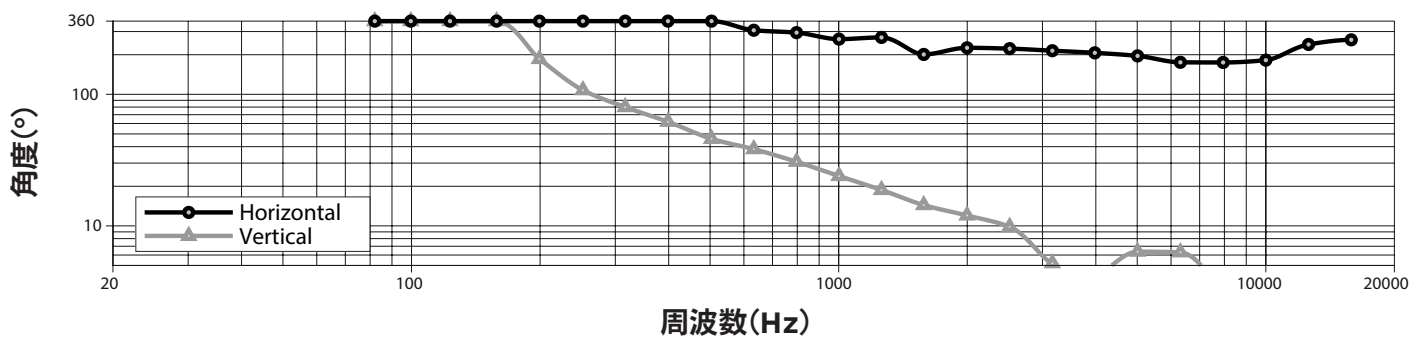
周波数特性(軸上)



指向性指数およびQ



指向角



設計者とエンジニアのための仕様概要

このシステムは、マルチドライバーのフルレンジポータブルスピーカーシステムです。内部電源供給のパワーアンプとアクティブEQを搭載し、複数の動作モードを利用できます。詳細は以下のとおりです。

トランスデューサー部は、曲線型アーティキュレーテッドアレイスピーカーに搭載された2インチハイエクスクージョンクリケットドライバー(x 32)で構成され、ポート付きベースエンクロージャーに取り付けられたモジュール式の10インチx18インチレストラック型低域ドライバーと組み合わされています。スピーカーアレイは、シリーズ/パラレル構成で接続されます。

スピーカーの公称水平ビーム幅は180°、公称垂直カバレッジは0°です。システムのパワースタンドには、低域ドライバーのためのポート式通気システムが組み込まれています。トランスデューサーのパワー増幅は、1000 W(低域トランスデューサー/Sub2)および480 W(高中域アレイトランスデューサー/L1 Pro32)を提供する、一体型の2チャンネルオンボードアンプによって供給されます。

オンボードデジタルミキサーは、3つの入力チャンネルで構成されています。チャンネル1および2には、コンボ(XLRまたは1/4インチTRS)コネクター(マイク/楽器/ライン)を搭載し、トレブル/ベースEQおよびリバーブエフェクトを利用できます。ファンタム電源(48 V)は、ボタンを押して有効化および無効化できます。両方のチャンネルが、マイクおよび楽器向けの選択式EQプリセットを備えています。チャンネル3は、1/8インチTRS(ステレオミックス、ライン)コネクターと、1/4インチTRS(ライン)コネクターを搭載しています。このチャンネルはBluetoothペアリングボタンを搭載し、高音質なAACコーデックを使用してBluetooth®オーディオストリーミングを利用できます。3つのチャンネルすべてに、専用のチャンネルミュートボタンがあります。オンボードミキサーの出力コネクターは、XLRバランス出力コネクター(x 1、ラインレベル)です。オンボードミキサーは、ToneMatch RJ-45コネクターを搭載し、Bose T4S/T8S ToneMatch Mixer用のToneMatchケーブル経由で、デジタルオーディオを受信し、電源を供給します。

パワースタンドのエンクロージャーは、耐衝撃性ポリプロピレン製です。アレイは、耐衝撃性ABS製です。サブウーファーは、耐衝撃性ポリプロピレンおよびバーチ合板製です。

システムのアレイ外寸は、2120 mm H x 351 mm W x 573 mm Dです。質量は、13.1 kgです。システムのサブウーファー寸法は、694 mm H x 317 mm W x 551 mm Dです。質量は、23.0 kgです。

スピーカーの正式名称は、Bose L1 Pro32 + Sub2 portable line array systemです。

安全上のコンプライアンス

L1 Pro32 + Sub2 portable line array systemは、次の標準に準拠しています。

- UL/IEC/EN62368-1 Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment
- Ecodesign Requirements for Energy Related Products Directive 2009/125/EC
- Radio Equipment Directive 2014/53/EU
- CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)
- FCC Part 15 Class B

Bluetooth®のワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、Bose Corporationはこの商標を使用する許可を受けています。Bose、L1、およびToneMatchは、Bose Corporationの商標です。その他すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。

仕様および設置についての詳細は、[PRO.BOSE.COM](https://www.bose.com)を参照してください。
仕様は予告なしに変更される場合があります。2021年10月